

# パキスタンの大洪水、地球温暖化で雨量最大75%増...今夏には国土の3分の1冠水

この記事をスクラップする

欧米の気候学者らによる国際研究チーム「ワールト・ウェザー・アトリビュション」は、パキスタンの国土の3分の1が冠水したとされる今夏の大洪水について、地球温暖化の影響でこの地域の雨量が最大75%増えたとの分析結果を発表した。



5月30日、パキスタンの首都イスラマバードで、洪水に巻き込まれた人々。写真：AP

現在の地球の平均気温は産業革命前より1・2度上昇している。チームは今年の雨期にパキスタンで実際に降った雨の量と、温暖上昇がなかったと仮定した場合の雨量を比較。その結果、温暖化の影響で雨量が50～75%増加していた、治水設備の脆弱さなども被害拡大につながったとみられる。

今後温暖化が進み、産業革命前から2度上昇すると、豪雨被害が激甚化すると予測する。チームの一員でパキスタンのフアハド・サイード博士は「温室効果ガスの排出量を今すぐ削減すべきだ」と訴えている。

チームは同じ手法で、温暖化の影響を受ける前後で、異常気象の発生確率がどう変化したかを推計。昨年6月に最高気温49・6度を記録したカナダの猛暑は約150倍、今年7月に40度超となった英国の猛暑は10倍以上起こりやすくなっていた。気象庁気象研究所なども、日本の今年6～7月の猛暑が約240倍起こりやすくなっていたと分析している。

30代から40代の方へ  
**報酬1,200万円**  
 高報酬、高待遇の求人多数掲載中!

採用：C&Rリーガル・エージェンシー社 今すぐ登録する

読売新聞の新常态

新聞も、デジタルも、おトクも  
 全部あわせて 読売新聞のお申込み

週刊発行地域 4,400円/月税込  
 朝刊のみ発行地域 3,400円/月税込

Check!

チューリッヒ保険会社



チューリッヒの自動車保険

あなたにぴったりの自動車保険で保険料も節約

無料でカンタンにお見積り >